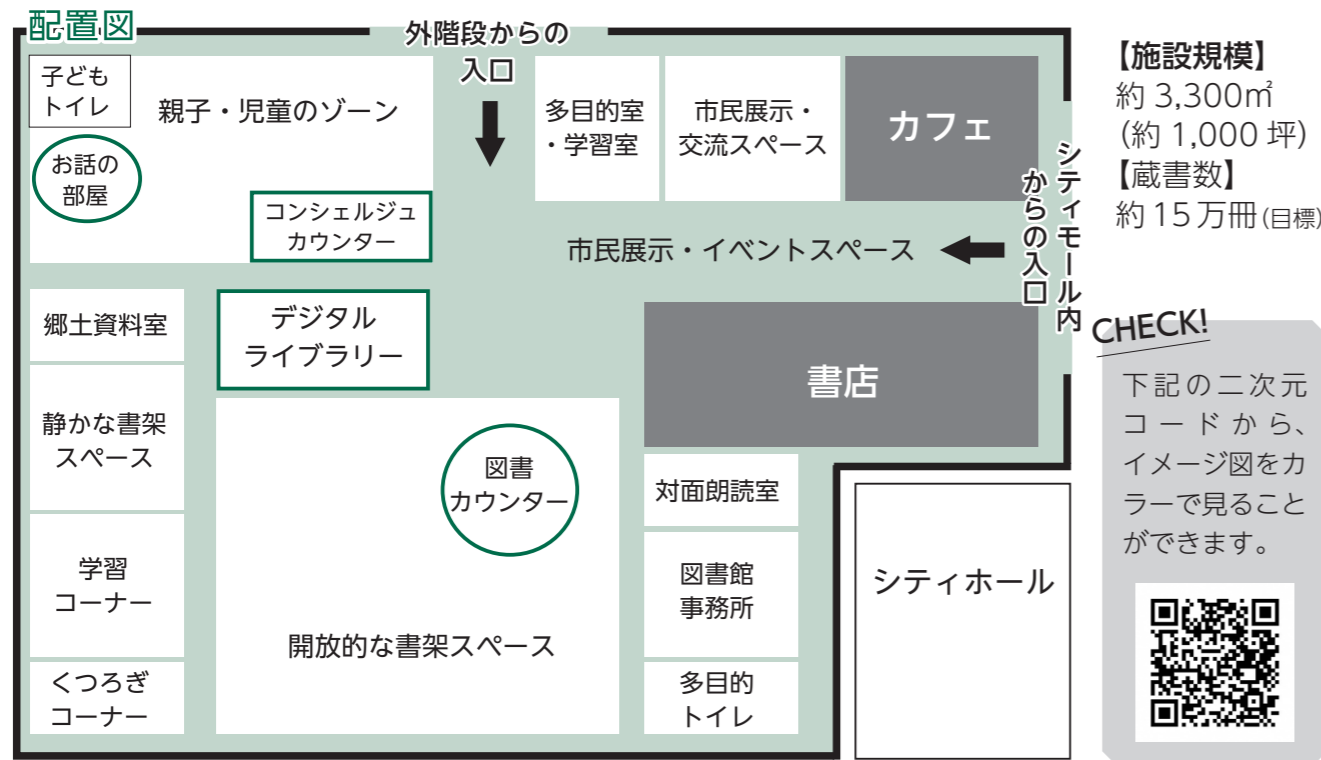


デザインコンセプト 「干潟の図書館」

おおらかな本の干潟へ新たな発見と学びを求めて探索に行く。



未来へつづく新たな拠点



新しい図書館は、「学びをつたえる図書館」として、郷土の文化や歴史資料の展示をはじめ、楽しみながら本と出会う機能の充実、「交流活動とつながる図書館」として、多世代が交流できる場の創出、「未来につづく図書館」として、電子書籍や学校とも連携した ICT などのデジタル化を推進します。

その他、最新の設備を備え、人々が集い、「まちの新たな活力につながる図書館」を目指します。

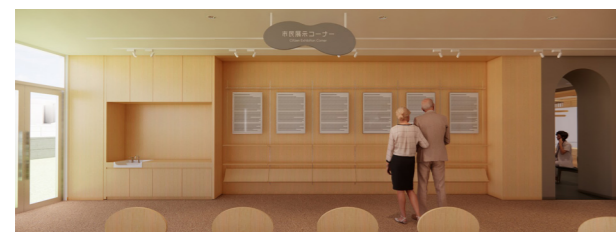
人とつながる 本と出会う

多目的室、学習室、親子・児童ゾーンを設け、多世代が気軽に立ち寄り滞在し、誰にとっても楽しく居心地のよい空間になります。



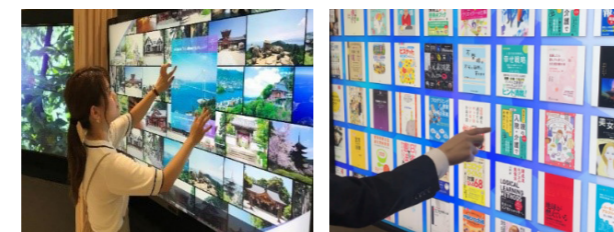
文化をつたえる

市民展示・交流スペースや郷土資料室では、市の歴史や文化を感じることができます。



未来につづく

デジタルライブラリーでは、電子書籍や市の観光などの紹介の他、遠隔授業スタジオも導入します。



新図書館のサービス

書籍のセルフ貸出

自動貸出返却機を設置し、利用者自身で貸出・返却手続きができるようになります。

無料 Wi-Fi を整備

お手持ちのスマートフォンやパソコンなどで、館内どこでも Wi-Fi の接続・利用ができるようになります。

視聴覚コーナーやタブレットの導入

視聴覚機器を導入し、館内で CD・DVD を視聴できます。館内限定のタブレット貸出も行います。

電子書籍

約 7,000 点の電子書籍を備え、お手持ちのスマートフォンやパソコンで電子書籍が利用できるようになります。

飲食可能

飲み物は、フタ付きの容器であれば館内どこでも持ち込むことができます。食事可能なスペースも設けます。

豊富な座席

読書や学習など、利用用途に合わせた座席を利用することができます。

多様な貸出方法

利用者カード以外にも、マイナンバーカードやスマートフォンからも本の貸出ができます。

開館時間の延長

開館時間が全日午前 10 時～午後 8 時までに変更され、学校や仕事帰りにも利用できます。

